

いわみざわ



発行所 陸上自衛隊駐屯地 岩見沢市日田町2丁目
 印刷所 北海道立福祉会 空知郡美幌町東上350
 電話 (0126) 45-2721

年頭の挨拶



兼司令 群建設 第12 陸見 駐屯地 岩見 陸佐 多田 紀幸

新年明けましておめでとう
 ございます。岩見駐屯地の
 隊員諸君、駐屯地のOBの皆
 様、協力諸団体の会員の皆様
 には、ご家族共々良い新年を
 お迎えのこととお慶び申し上

げます。
 さて、昨年は正月早々から
 阪神・淡路大震災に多くの隊
 員諸君が参加する等激動の日
 本を象徴する幕開けでした。
 この災害派遣にあたっては、
 不自由な環境の中で、黙々と
 災害復旧支援を実施し、現地
 市民のみならず、全国民から
 その真摯な活動について絶賛
 をあびました。この間、岩見
 沢市長及び協力会隊区連合会
 会長には、わざわざ現地まで
 赴かれて当駐屯

地から派遣され
 た隊員を激励し
 て頂き本当にあ
 りがとうござい
 ました。
 駐屯地として
 は、生活隊舎・ホ
 イラー等の新
 設、本部庁舎・器
 材庫等の改修、
 道路の舗装、私
 有車モーター
 ブール・グラン
 ド整備等を実施
 しました。ま
 た、三月に新編
 される坑道掘削
 中隊用のモー
 ターブール・倉
 庫等の部隊施行
 も実施しまし
 た。さらには、
 駐屯地の主力で
 ある第十二施設
 群を中心に、演

習場の整備・渡河訓練・災害
 派遣訓練(入会検査受験等々、
 本当に忙しい一年でしたが、
 駐屯地所属全隊員の努力によ
 り、それぞれ、立派な成果を
 上げ、駐屯地創立四十二周年
 群創隊二十周年記念行事も成
 功裡に終了することができま
 した。また、忙しい合間を縫
 って、隊区担当部隊を中心に、
 曹友会・陸士会・駐屯地各ク
 ラブ等の協力を得て、地域と
 の触れ合い・支援活動も活発
 に実施することができ、市民
 の皆様、自衛隊に対する理解
 も一層深まったものと思いま
 す。



迎春

平成8年

さて、今年を引き続く経済
 不況の中、自衛隊の将来態勢
 特に削減問題・駐留米軍問題
 等政治的に自衛隊関連事項が
 大きく議論される年となる予
 見です。国際貢献としては、
 グラン高原へのPKO派遣が
 実行されます。
 駐屯地としては、新官舎の
 建設、新生活隊舎への引っ越
 し、坑道掘削中隊の新編等が
 あり、また第十二施設群は団
 長の訓練検閲を受ける年でも
 あります。結構忙しい年にな
 ると思いますが、各所掌にお
 いてそれぞれ業務の効率化を
 図るとともに、駐屯地所属全
 隊員が、「明るく、楽しい」そ
 して、「開かれた・地域に貢献
 する」駐屯地として頑張っ
 て参る所存でありますので宜し
 くお願い致します。
 本年が皆様にとってよい年
 となりますよう祈念申し上げ、
 年頭のご挨拶と致します。



岩見沢市長 能勢 邦之

新年明けましておめでとう
 ございます。
 隊員の皆様には、ご家族お
 揃いで輝かしい新春を迎えら
 れましたことを、心からお喜
 び申し上げます。
 市政の推進について、いつ
 もご理解とご協力を頂き、市
 民と積極的に融和を図って来



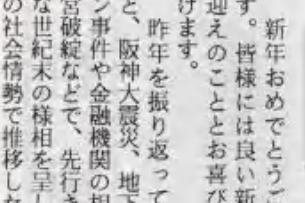
兼司令 群建設 第12 陸見 駐屯地 岩見 陸佐 多田 紀幸

新年明けましておめでとう
 ございます。岩見駐屯地の
 隊員諸君、駐屯地のOBの皆
 様、協力諸団体の会員の皆様
 には、ご家族共々良い新年を
 お迎えのこととお慶び申し上

さて、私は隊区連合会会長
 として、永年お世話になって
 おり、むしろ協力をいただいた
 ていることにお礼を申し上げ
 げ、今後とも格別のご配慮を
 願うものであります。幸い歴

代駐屯地司令をはじめ幹部の
 方々の指導よろしきを得て市
 民との融和が図られ、市民の
 多くが駐屯地の存在意識を十
 分理解され、感謝の気持ちを
 持って接しております。これは
 会長として他のどの駐屯地
 よりも自慢できる環境にある
 と思うとき、関係各位に心か
 ら感謝をしているところでご
 ざいます。

が言われた言葉を思い起こ
 します。「世の中の動きは流
 動的で何が起るかわからない
 い。そんな時だからこそ我々
 が健在しなければならぬ。
 そのため明日に向かって今
 日燃え、何かに燃える時に人
 間が一段と大きくなる。君が
 主役であり、日の出の如く輝
 く時だ」と。
 自衛隊の今後益々のご繁栄
 と隊員各位のご健勝を祈念い
 たしまして、年頭の挨拶と致
 します。



兼司令 群建設 第12 陸見 駐屯地 岩見 陸佐 多田 紀幸

新年おめでとうございま
 す。皆様には良い新年をお
 迎えのこととお喜び申し上
 げます。
 昨年を振り返ってみます
 と、阪神大震災、地下鉄サリ
 ン事件や金融機関の相次ぐ経
 営破綻などで、先行き不透明
 な世紀末の様相を呈した暗黒
 の社会情勢で推移した年であ

りました。また、国際的には
 規制緩和を強いられ、価格
 破壊の波が押し寄せ商工業者
 等にとっては今までにない厳
 しい経済環境であり、学卒者
 や就職者にとっても就職難で
 越年した年でもありました。
 一方、自衛隊にとっては平
 成五年度から大地震による三
 年続きの災害派遣やPKOで
 の活躍等、国内外にも移り
 変わゆく諸情勢にそれぞれ
 対処して、その対応振りは遅
 しく、平時における精鋭な訓
 練の成果であり国民の見る目
 も変わってきたことと行じ、

我々OBにとっても心強く感
 じているところであります。
 しかし、終戦五十周年を機
 に自衛隊の組織縮小について
 の構想もまともいよいよ少
 数精鋭主義の組織体制になる
 ようであり、冷戦終結を口実
 に減員が進められようとして
 いる。しかし、極東及び東南
 アジア周辺の他国を眺めたと
 きに余りにも寂しい防衛構想
 としか思えないのは私一人で
 あるのか。「百年兵を養うは
 一日の為」の言葉通り一夕に
 して兵が出来上がるものでは
 ないと思うが...

さて、岩見沢の隊友会支部
 も百六十名の会員となりまし
 たが、会員がお互いに第二の
 人生を「健康で明るく楽しく」
 をモットーに声を掛け合い、
 切磋琢磨して、それぞれ職場
 は違っても生き甲斐を求め
 て、努力しているところ
 であります。
 岩見沢駐屯地の隊舎環境も
 一新し、いよいよ充実した駐
 屯地環境の中で隊務や訓練も
 尚一層精進の励みとなってい
 ることと存じます。ますます
 のご健勝を祈念して新年の挨
 拶といたします。

諸部隊長の挨拶



業務隊長 佐宮 隆
2 佐 宮 隆

新年おめでとうござい
ます。昨年は新隊舎の落成、本
部隊舎の改装、ボイラー室、
木工場の完成、通勤道路の舗
装等この岩見沢駐屯地の生
活、勤務環境の向上は著しい
ものがあります。

私は、十月末業務隊長に補
職されてから「積極支援・即
実行・誇りの持てる良い仕事」
を要望にあげ、業務隊自隊の
意識改革、勤務環境の改善に
努めてまいりました。隊員諸
官は年始めから新隊舎での快
適な生活が待っています。

我が業務隊としても皆さん
が勤務に精励できるように効
率的で人間味のある管理・支
援を積極的に実施して、素晴
らしい駐屯地を作りあげたい
と思っています。比較的高
年齢層の多い部隊ですので全
員が一丸となって健康管理に
は十分留意するとともに明
るく笑いのある職場・活力の
ある職場を目指し「誇りの持
てる良い仕事」をやり遂げま
しょう。



会計隊長 藤原 隆
1 財 藤原 隆

新年明けましておめでとう
ございます。
昨年の会計隊は、三年振りの
訓練検閲の受閲、二年振りの
会計実地検査の受検等々多

忙な年でありましたが、その
中で会計特技競技会では優勝
の栄冠を得ることができまし
た。これはひとえに、駐屯地
司令をはじめ各部隊長、隊員
皆様に御支援いただいた賜物
であると感じております。

今年も、自衛隊を取り巻く
環境は目まぐるしく変動する
ことが予想され、また、自衛
隊予算についても厳しく制約
を受ける年になるものと思わ
れます。

会計隊といたしましても更
に効果的会計支援ができるよ
う努力し、駐屯部隊の真に役
立つ会計支援を推進する所存
であります。

年始にあたり駐屯地の隊員
及び御家族皆様の御健勝と
御多幸を祈念いたしております。



基通隊長 幸男
2 財 幸男

新年明けましておめでとう
ございます。御家族々々良き
年をお迎えのこととお慶び申
し上げます。

昨年の基通は、リフレッシュ
を返上して総監検閲を目
標に訓練に明け暮れた年で
した。

今年も、しっかりと足腰を鍛
え「ユーザー在りて我在り、
ユーザーの信頼無くして我無
し」をモットーに陸自指揮シ
ステムの導入や交換機換装準
備に万全を期し、通信サービ
スの向上に基地通信隊一同全
力投球して行きたいと考えて
おります。



警務班長 杉本 勝男
2 財 杉本 勝男

今年もどうぞ宜しく御指
導、御協力をお願い申し上げ
ますとともに、皆様様の益々
の御多幸を御祈念申し上げ新
年の挨拶と致します。

新年明けましておめでとう
ございます。本年もよろしく
お願いいたします。

駐屯地の皆さん、今年も
「一年」です。ネズミ年は十二
支の始めの年です。なぜネズ
ミが始めになったのかと言
話はいろいろな説があります
が、「神様が上」支の順番を決
めるとき、一番早く神様の元
へ駆けつけた」と言うのが一
般的な話だと思えます。反
面、ネコはその性格から「神
様の呼び掛けにも応じなかつ
たことから十二支から外され
た」との話があります。

私達自衛官も、ネコの存在
ではなくネズミの存在で、野
ネズミとかどぶネズミでは
なく、真に人の役に立つネ
ズミの存在を期待したいと思います。

皆さん、ちよろちよろする
必要はありませんが、呼び掛
けには応えられる生き方を致
しましょう。

年男の抱負



業務隊長 倉橋 幸男
2 財 倉橋 幸男

駐屯地の皆様新年明けまし
ておめでとうござい
ます。一年の計は元旦にありと申
します。私も今年四十八歳、
月日の過ぎてゆくのが早く一
年が半年ぐらいに感じる今日
この頃であります。

本年の目標は、三つの柱で
頑張りたいと決意しました。
第一は、健康管理を確実に実
施することです。第二は、仕
事に対する姿勢「即実行」、命
令されたことや自分で良いと
思った事の企画等です。第三
は、「和」であり人と接する際
には聞き手になり相手は何を
考えどのようにしたいのかを
聞き、是正する必要があれば
手段方法を具申しという形で話
すれば話は良い方法へと転
換していくと信じ、新年にあ
たりこの三つの事を完遂した
いと思っています。

私も、早三回目の年男を迎
えることになりました。十二
年に一回のこの一年間を「こ
うやるぞ」という気負いは
ありませんが、次の三点は自
分なりに努力しようと思っ
ています。

第一に健康。暴飲暴食をつ
つしみ、楽しみの晩酌も控え
る(かなりの努力が必要?)。

第二に家庭。留守が多いの
で、休日には面倒くさがらず
家庭サービスに務める。
第三に仕事。まだまだ、自
分で納得ゆく作業が出来ない
ので他の才への技術に少しし
も近づけるよう努力する。
以上三点をこの一年、出来
るならそれ以上続けていこう
と思っています。

私はこの原稿の依頼を受け
るまで、自分自身が今年年男
であることをすっかり忘れて
いました。

ですから、年男の抱負と言
っても特に考えつかないので
すが、改めて考えると昨年は
念願であった三等陸曹に任官
することができ、私にとって
大変良い年でした。

陸曹の仲間入りをして早六
ヶ月が過ぎましたが、陸曹に
なった実感もほとんど感じら
れず、ただただ陸士の延長の
ようでした。

今年も、早三回目の年男を迎
えることになりました。十二
年に一回のこの一年間を「こ
うやるぞ」という気負いは
ありませんが、次の三点は自
分なりに努力しようと思っ
ています。

第一に健康。暴飲暴食をつ
つしみ、楽しみの晩酌も控え
る(かなりの努力が必要?)。

ビル管理部、北海道知事登録・元・清・第6号
はしもと商事株式会社
メンテナンスに関する事ならお任せ下さい。
親切・丁寧・確実

TEL・FAX(0126) 22-5546
岩見沢市駒園5丁目6

総合商社
君島商会

本社	岩見沢市南町8条2丁目	☎0122-4613
支店	岩見沢市志文町2条3丁目	☎22-5813
支店	岩見沢市本町10	☎45-2068
支店	岩見沢市南町9条2丁目	☎22-4585
支店	岩見沢市南町9条2丁目	☎22-6434
支店	岩見沢市南町9条2丁目	☎22-7851
支店	岩見沢市南町8条2丁目	☎24-8390
支店	岩見沢市南町8条2丁目	☎25-4840

オール電化マンション
レジエンド (有) エイ

連絡先: 岩見沢市6条西7丁目
☎ 22-0087

近江建設株式会社
特定土木建築許可一級建築士事務所
取締役会長 近江 章
代表取締役社長 近江 雅章

本社	岩見沢市4条東17丁目48番地	電話 23-3028
		FAX 25-6582
支店	札幌市中央区北1条西20丁目	電話 643-2889
	岸本ビル4F	FAX 643-2816
支店	三笠市唐松町1丁目374	電話 2-9179

千葉電気工事株式会社
代表取締役 千葉 嘉男

岩見沢市東山町22番地71
電話(0126) 24-4567番

自衛隊退職者雇用協議会
岩見沢支部

事務局 岩見沢商工会議所内
支部長: 勝井 祐輔
TEL: 0126-22-3445

隊友会岩見沢支部

隊友の小川清一氏

叙勲授章記念祝賀会開催

岩見沢支部(支部長 長崎進)は十一月二十六日、隊友及び現役自衛官等四十九名の出席者並びに三十三名の賛同を得て、ホテルサンフラザにおいて、会員小川清一氏の勲六等瑞宝章授章を記念し、盛大に祝賀会を行った。

小川氏は昭和二十九年から三十三年間岩見沢駐屯地に勤務し、第一〇二施設大隊及び第二十二施設群並びに業務隊において、積極誠実に任務を遂行した。特に、業務隊厚生班長時代に隊員の福利厚生業務に尽力し、駐屯地の緑化や厚生施設の充実に寄与した事で北部方面總監から賞詞を授与されたことが高く評価され、十一月三日受章された。

祝賀会において、小川氏は「受章を光栄に思います。これも現役時代に、温かいご指導とご協力を頂いた皆様のおかげです。」と感謝の言葉を述べた。



陰であり、心から厚くお礼申し上げます。これからも心新たに地域社会に貢献したい」と謝辞を申され、出席した方々から厚い祝福を受けた。

細川 記

ボウリング大会開催

岩見沢支部は年度行事の一つであるボウリング大会を十一月十二日、西友五階のトーホーボウルで会員及び現役隊員併せて約四百名が参加して行った。

開始に先立ち黒田副支部長から細部実施要領及び注意事項等について指示があり、十四時三十分競技が開始された。あちらこちらでストラライクのガッツポーズに拍手がおくられ和気あいあいの中、約二時間で終了した。

成績は次のとおり
優勝 川口和則三三五施設
中隊長、準優勝 石川征明氏、一位 池田哲夫募集事務所長
引き続き、つば八本店で四十八名が参加し、懇親会を行った。最初に長崎支部長からボウリング大会の所見、特に健康の大切さ、更に「このようなお互いに近況を語り合い、切磋琢磨して頑張っていきたい。」と励ましの挨拶があった。

続いて、恒例に従い最新の会員である葛西正浩氏の乾杯の発声で宴が始まり、久し振りに尽きない話題で盛り上がり楽しい一時を過ごした。「遊んでくれる友がいるから、人生は楽しい。」私もこんな気分陶酔した一人でした。

細川 記

訂正とお詫び

七年十月発行の本紙二面、第一〇二施設大隊第三中隊廃編二十周年行事の記事中、上段右から二十五行目大足託也とあるを大足卓也に訂正し、お詫びします。

「岩見沢市政について」報告(つづき)



顧問 安藤 富男

新年明けましておめでとうございませう。
新春を皆様と共に健やかに迎えることができましてことお慶び申し上げます。
本年は明るい希望の持てる良い年でありませうようご祈念申し上げます。

さて、新年ではございますが、昨年積み残した部分を報告申し上げます、この項については完結したく思います。
当初三階以上についてはジャスマック社が買い取る条件で始まった計画も、バブル経済の崩壊による金融事情や景気の後退で、ジャスマック社の資金調達が困難になり建設が難しくなり始めた頃より、

駅ビル会社の役員は「前国兼市長に頼まれたからこの事業に参加した」、辰村組は「第三セクターは半公共であり市は持ち株の五十一%所有しているから、市の責任である」、ジャスマック社は「経済支援をすべく、市が資金の支援策を取らないのはおかしい」というふうに、三様に責任を転嫁し始めた。更には辰村組は工事代金未払いを理由に工事を休止してしまふ。この頃駅ビル会社は、会社としての機能を失いつつあり事業の正常な運営はなされず、市としても予算の執行ができないまま、翌年へと繰越明許費で繰り越す。

工事は一年近く放置されていたが市民の要望も高まり、

市としても解決策をビル会社の取り方の方向で見い出そうとした。幸いに国策の若者定住構想に乗り起債を交付税で算定してもらったことに決定したので、平成六年三月三十一日に完成することを前提とし二十三億で買収約束を第三セクターと結び、辰村組も工事再開をする。しかしながら、完成間近になって再び辰村組は、工事未払いの請求を出し工事を止め、二十三億を受け取った後も前述の資材搬入分の代金の支払いを求めて建物の移転登記を拒み、裁判も辞さない態度に出た。恐らく十月の市長選を見越しての行動だと思いが、結果は辰村組自体が南海建設に吸収合併されることになったこと、又、期日内に工事が完成条件がない等、裁判上不利な条件が発生したために、資材費については駅ビル会社、辰村組、ジャスマック社で三分の一つづつ負担することで話し合いがつきようやく移転登記も済ませてオープンにこぎつけた。

今回の事例で感じたのは、一、安易な手法を用いて、その場逃れは最後になって良い成果を得ることは難しい。二、権利と責任、義務の所在を明確にしなければ障害にぶつかった時は、目的に向かって共同歩調が取れないし、又、障害を乗り越えるのはより大きな努力が必要になる。

一、秘密主義は結果的には一部の利権に走り、全体の利益につながる等の大切な教訓を得たと思う。これにて駅ビル問題については終わらせて頂きます。

(岩見沢市議会議員)

おしゃれの店
洋品の マルカワ
高橋 邦夫
岩見沢市3条東1丁目 ☎ 221224

株式会社 本堂建設工業
本社 ☎068-21 TEL 010267-2-7300
三笠市岡山359番地1 FAX 01267-2-5858
札幌支店 ☎003 TEL 011-861-1381
札幌市白石区本通り南1の8 FAX 011-865-6034
石狩支店 ☎061-32 TEL 0133-73-3111
石狩町花川南1条1丁目 FAX 0133-73-0757

安心しっかり
愛車もしっかり
車検費用積立プラン
富士火災
担当 松浦直樹
岩見沢支社 TEL23-5142

“終身保険の充実保障。”
○三大疾病 (リビングニーズ)
○余命6カ月前死亡保険支払
○通院特約
東邦生命
担当 深沢 隆子 (内線327)

安心とゆとりのプラン
協栄生命 LL・ワイド 1500 最新型
余裕資金を上手に活かして大型保障
協栄の保険料還元制度をご利用下さい。
定期特約付終身保険
協栄生命保険株式会社

500人収容の大宴会場から中小宴会場
でお待ち申し上げております
ホテル サンフラザ
岩見沢市4条東1丁目 ☎(0126) 23-7788

ミニフォトニュース



生活隊舎完成



12 施設群平成8年始動

昇任おめでとう

- 【第十二施設群】
- 一等陸尉へ
 - 群本部
 - 二等陸尉 折笠 忠一
 - 三等陸尉 田中 均
 - 准陸尉へ
 - 第三二施設器材中隊
 - 陸曹長 鈴木 勇
 - 本部管理中隊
 - 一等陸曹 市川 泰博
 - 第三五施設中隊
 - 一等陸曹 山内 克彦
 - 第三二施設器材中隊
 - 一等陸曹 小笠原五郎
 - 本部管理中隊
 - 二等陸曹 吉田 敏夫
 - 同 香山 英明
 - 第三二施設器材中隊
 - 二等陸曹 佐々木哲弥
 - 二等陸曹へ
 - 第三六施設中隊
 - 三等陸曹 上村 修司
 - 第三七施設中隊
 - 三等陸曹 齊藤 武彦
 - 第三二施設器材中隊
 - 三等陸曹 岡田 耕英
 - 三等陸曹へ
 - 本部管理中隊
 - 陸士長 鳴海 修
 - 同 松浦 高弁
 - 第三五施設中隊
 - 陸士長 石田 圭一
 - 第三七施設中隊
 - 陸士長 萩生田晶博
 - 同 増田 弘幸
 - 第三二施設中隊
 - 陸士長 小川 功
 - 第三二施設器材中隊
 - 陸士長 三浦 英彦
 - 第三二施設器材中隊
 - 陸士長 松尾 彰史
 - 【業務隊】
 - 一等陸曹へ
 - 行(二)級へ
 - 二等陸曹 八木橋 豊
 - 行(一)級 佐藤 潔
 - 三等陸曹へ
 - 陸士長 栗原 善英
 - 同 千葉 勇夫
 - 【基地通信隊】
 - 陸士長 栗原 善英
 - 同 千葉 勇夫

☆業務隊長交代☆ 十月五日付
 着任隊長
 一等陸佐 宮脇 隆
 (第十普通科副連隊長から)
 前隊長
 二等陸佐 津村 隆夫
 (札幌駐屯地業務隊へ)

こんにちは赤ちゃん



二女 有希ちゃん
12月8日



長女 結奈ちゃん
11月20日



長女 亜希ちゃん
10月10日



10月29日

第三五施設中隊
 三曹 増原 祥貴
 検美さん



10月28日

第三六施設中隊
 士長 清水口通泰
 准子さん



11月1日

第三七施設中隊
 士長 玉井 学
 亜紀さん



11月1日

第三四二施設中隊
 三曹 菅原 雄志
 郁子さん



11月19日

第三五施設中隊
 三曹 則元 直樹
 みきさん



11月11日

第三七施設中隊
 三曹 佐伯 賢一
 晶代さん



12月2日

本部管理中隊
 三曹 片山 英樹
 美保さん



11月24日

第三三三施設中隊
 士長 桐谷 嘉男
 恵美さん



12月16日

第三三三施設中隊
 三曹 渡辺 敏
 恵美さん



12月9日

第三二二施設器材中隊
 三曹 村口 優介
 友香さん



結婚おめでとう



- 本部管理中隊
 三曹 齋藤 信一
- 第三二施設器材中隊
 士長 小杉山哲也
- 本部管理中隊
 三曹 乾 康博
- 第三三六施設中隊
 甲斐 隆之・箱山 均
 濱田 清尋・松田 忍
 鈴木 功次
- 第三三六施設中隊
 栗谷 健治・今村 祐也
 樋口 信治・佐藤 守
 榊 勇士・坂下 信彦
 高村 将甲
- 第三三七施設中隊
 宿谷 泰生・山口 由仁
 石田 充・岩下 栄市
 長谷川 太平・村田 和寿
 金野 孝行・志賀浦慎司
 第三二二施設器材中隊
 保科 和寿・加藤 博之
 進藤 清人
 基地通信隊
 小笠原 和

成人おめでとう



12月14日付

本部管理中隊
 三尉 遠藤 勝洋
 就職先
 法務局岩見沢支局



11月6日付

業務隊
 一尉 蔵本 久男
 就職先
 岩見沢商工会議所



1月2日付

本部管理中隊
 曹長 市川 孝徳
 就職先
 株式会社岩見沢地域交流センター



1月2日付

業務隊
 准尉 中西 敏三
 就職先
 ポリマー技研



1月1日付

第三四二施設中隊
 曹長 中島 昇
 就職先
 東洋建物管理株

永年の勤務 ご苦労様 でした

宝 石 創業87年 貴金属
 防衛庁共済組合岩見沢支部契約店

(株)太田時計眼鏡店

岩見沢市1条西4丁目
 TEL 0126-3353 3354

人としての
 時代としての
 モニュメントを大切に



有限会社 渡辺石材工業

■本店 〒068 岩見沢市8条東11丁目
 TEL(0126)25-2545・FAX(0126)23-4567

二人の時間を刻みたい



Iwamizawa
 Heiankaku

Phone. 0126-23-4581 FreeDial. 0120-201143